

御卒業おめでとうございます

6年生のみなさん、卒業おめでとうございます。

卒業生の保護者の皆様、お子様の卒業、おめでとうございます。これまで本校の教育活動に御理解、御協力いただき、誠にありがとうございました。

1年間の授業日数は約200日。6年間で1200日間を九町小学校で過ごしたことになります。子供たちは、様々なことを体験し、日々、少しずつ成長していったことでしょうか。そして、その成長は、これからも続いていきます。

先日、「イベリン：彼が生きた証」というノルウェーのドキュメンタリーを観ました。マッツ・ストーンは、進行性の筋疾患により徐々に筋力を失い、25歳で早世しました。高校卒業後の8年間、彼はほとんど外出せず、自室でオンラインゲームに熱中していました。イベリンとは、彼がゲーム内で使っていたアバターの名前です。イベリン…貴族であり、私立探偵。

彼の両親は、息子が友達と関わることも、恋愛をすることも、誰かに影響を与えることもなく生涯を終えたのではないかと不憫に思い、せめてゲーム仲間に息子の死を伝えようと考えました。生前に聞いて覚えていたパスワードを使い、ゲームにログインし、掲示板にマッツが亡くなったことを報告する投稿をしました。そのメッセージには、父親のメールアドレスも添えました。誰へ届くのかも分からない、読む人すらいないかも知れないメッセージでした。

すると、すぐに父親のメールアドレスに次々とメッセージが届き始めたのです。「彼と出会えてよかった」「大切な友人を失い、とても寂しい」「彼は、まさにヒーローだった」…。国外からのメールもありました。マッツには、多くの友人がいたのです。ゲームの中で、彼は恋をし、友人の悩みを聞き、アドバイスを与え、現実世界で生きる仲間たちを支えていたのです。

マッツの両親は、息子の人生について誤解していたことに気付きました。彼は、友情や愛に囲まれ、豊かで充実した人生を送っていたのです。

子供たちだけでなく、私たち大人もまた、社会の中で多くの人と関わり、互いに影響を与え合いながら生きています。マッツがそうであったように、子供たちもまた、様々な人々と関わりながら悩みを打ち明けたり、誰かを助けたりしながら、多くの経験を積んでいくことでしょう。

子供たちが、豊かな人生を送れることを心から願っています。

1年間、御愛読、ありがとうございました。

